

「スタンプを自作する(7)」

お茶の水女子大学附属小学校教諭

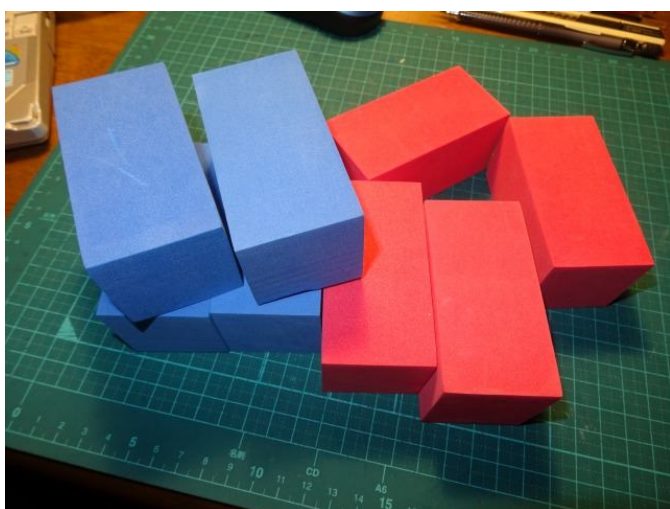
お茶の水女子大学サイエンス&エデュケーションセンター研究員

田中 千尋 Chihiro Tanaka

完成した「印面」は、全部きれいに切り取る。枠の外側ぎりぎりに切り取ったほうが、ノート等に押印した時に、余計な線が入らなくて、きれいな印影になる。



これが各々のスタンプ印面を切り取った状態。このままでは使えないので、「台座」に貼る必要がある。台座は木材でも良いが、軽くて加工が簡単な素材が良い。発泡スチロールでも可能だが、使っているうちに変形して、指を当てる部分がへこんでしまう。



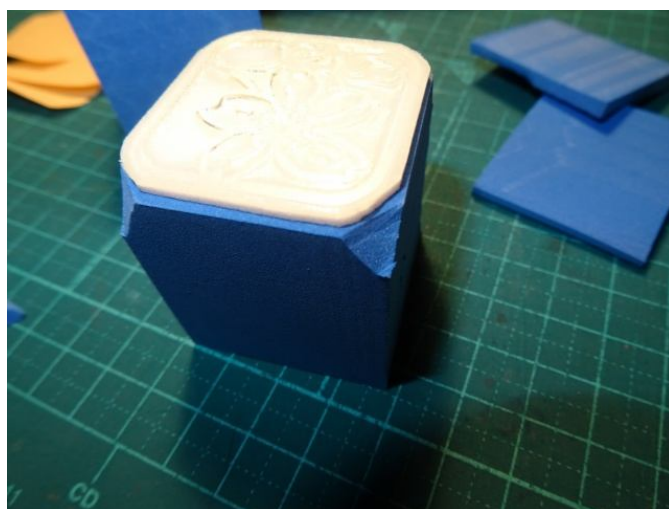
私は「エチレン酢酸ビニルコポリマー (EVA)」という素材を愛用している。小学生がプールで使う「ビート板」と同じ素材だ。体育部がビート板を廃棄する時は、必ずもらって使っている。カッターナイフで簡単に切れ、しかも長期間使っても全く変形しない。持っても軽く、スタンプの台座としては完璧な素材だ。



適当な大きさに切った台座に、できた印面を貼っていく。印面同士は、1~2mm離しておくが良い。



カッターで台座を切断する。長く出して使うので、よく切れる、やや厚手の刃のものが良い。私はカッターの刃だけはこだわりがあって、この金色の「チタンコート刃」を使っている。普通のカッター刃の倍以上の価格だが、切れ味、耐久性がまるで違う。



最後に台座の角を切り落とす。こうしておくと、押印時に、印面以外にインクが着くのを防げる。